

「この川をきれいにしたい!」という気持ちになりました。

真光寺川を清流にする会
世話人 山口拓郎

酷暑の日々が続き秋の訪れが例年になく遅く感じられた。人々は挨拶代わりに「やはり地球温暖化のせいでしょうか」と言い交わした。9月は大半病院のベッドで過ごした。長年苦しんできたノドの不具合を手術するためだった。10月になりようやく秋の気配が感ぜられるようになってきた。10月18日、麻生総合高校の1年生16名が体験学習にきて川の清掃作業に取り組んだ。送られてきた感想文に『少しでもこの川をきれいにしたい!』という気持ちになりました」と記されていた。

{8月}

8月 9日(木)里親通信の発行
猛暑。午後2時から里親通信の印刷と配布。段取りよく4時過ぎに終わる。
6時から魚民で一木会。「ごみフェスタ」の準備等について打ち合わせる。例によって話ははずむ。

8月10日(金)鶴三小、和光小に連絡
「ごみフェスタ」での研究成果発表につき打ち合わせる。ありがたいことに両校とも着々準備が進んでいるようだ。

8月11日(土)真光寺中から依頼文
今年も9月中旬に1年生に対する、出前講座と体験学習の支援について要請があった。恒例の行事となっている。その時期、入院予定のため山本さんへお願いする旨、返事を出す。

8月12日(日)清掃作業
酷暑。ボランティアセンターの紹介で中高生が3名参加する。内2名は恩田川、境川の作業にも参加した。真夏の太陽が容赦なく照りつける。終わって「いちよう会館」で一息つきながら高校生の質問に答える。麻生総合高校の学生、質問を10問用意し熱心である。

8月16日(木)水サンプル回収
猛暑日、熱帯夜が続く。涼しい内にと家を5時にスタートする。川沿いに水のサンプルを回収し7時20分に帰宅、シャワーを浴びて一息つく。

8月28日(火)ごみフェスタチラシ発送
すみれ会館でごみフェスタのPRチラシ2万枚を仕分けし発送する作業。鶴三小と和光鶴小にも早速届ける。

{9月}

9月 6日(木)里親通信の発行
台風9号の襲来。強い風雨の合間を縫ってセンターで里親通信を印刷し学校等へ配

布した。夕方、魚民で一木会。次週から入院することになるのでその間の諸対応をお願いする。

9月 8日(土)松井先生から連絡
和光鶴小の松井先生から相談の電話。「子ども達が岩手三陸地方の郷土芸能・中野七頭舞(ななずまい)を習っているがごみフェスタで発表するのはどうでしょうか」早速「ごみフェスタ」事業部会長に連絡、快諾が得られたのでその旨連絡する。楽しい「フェスタ」になりそうである。

9月 9日(日)清掃作業
朝から猛暑、9月になって強い日射しは一向に衰えない。権現橋のもとに大量の衣類の包が放棄されていた。水を含んで大変な重さだ。やっとの思いで引き揚げる。しじみは台風の出水で流されてしまったのだろうか、砂をすくっても見当たらない。おびたしい魚の群に驚く。終わっていちよう会館で一息つく。

9月11日(火)入院
一週間の予定で入院する。

9月23日(日)退院
予後は順調だったが入院が二週間に延びる。この間の諸行事は会員各位に対応して頂く。

9月26日(水)ごみフェスタ実行委員会開催に向けて最後の実行委員会。鶴三小・和光鶴小の発表につき最終調整をお願いする。結果を両校へ連絡する。

9月29日(土)鶴三小創立40周年行事
午後から体育館で記念行事が開催される。最盛期は児童数が1300名まで膨らみプレハブ校舎で対応したが現在は300名余りという。少子化の影響顕著である。地域との連携がうまくいっているように感じる。次なる十年に向けて一層質の高い教育を目指すという校長先生の力強いお話がある。

{10月}

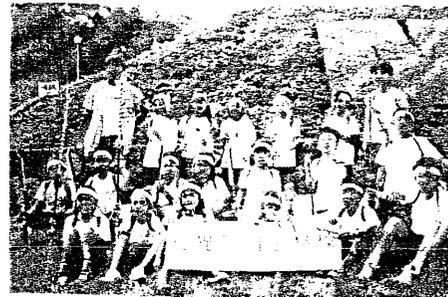
10月 4日(木)当日チラシの印刷
リサイクルセンターで横田さんとごみフェスタの当日チラシ3000枚を印刷する。早速、鶴三小、和光鶴小へ届ける。

10月 7日(日)「ごみフェスタ」開催
気がかりだった天気は上々、朝から青空が広がっている。

10時過ぎ、両校とも用意したブースへ勢揃いする。

10時40分、第1ステージで鶴三小40名のごみ問題研究成果の発表がある。二班に分かれて資料を高々と掲げながら元気よく発表する。整理されて内容の濃い発表だった。4月から時間をかけて勉強してきたと云う。先生の話によると夏休みに家族ぐるみで家庭のごみ減量に取り組んだそう。実績に裏付けられているだけ自信に満ちて説得力があった。20分で発表するにはもったいないような内容だった。

続いて和光鶴小19名の発表。多くの父兄も応援に駆け付けてくださった。子ども達もごみ問題に真剣に取り組みその成果を堂々と発表することでごみフェスタを開催する意義が充分叶えられるようで嬉しかった。ステージの発表が終わってからもそれぞれのブースの前で模造紙を掲げながら来場者にごみ減量を呼びかけていた。午後からは第2ステージで和光鶴小の「中野七頭舞(ななずまい)」が披露された。東北三陸地方に伝わる五穀豊穡、大漁を祈るお神楽である。部落の鎮守様に奉納されたと云う。優雅な内にも勇壮活発な踊りにしばし拍手が鳴り止まなかった。



(和光鶴小の七頭舞)



(鶴三小のステージ発表)

小山田小学校も校長先生と父兄がブースに活動状況を展示されていた。来年は子ども達にも参加して頂くようお願いした。晴れ上がった空、広い会場、様々な展示、フリーマーケット、模擬店、次々催される出し物、子ども達はごみフェスタの一日を満喫したようだった。

10月11日(木)里親通信発行
前日は府中で開催された「東京の明日を創る会」の大会でエコネットのごみ減量の取り組みを発表する。午後からセンターで里親通信を印刷し学校等に配布する。夕方、魚民で一木会。行事予定を打ち合わせる。

10月14日(日)TRネット・クリーンアップ作戦

例月の清掃作業日であるがTRネットのクリーンアップ作戦を兼ねて実施する。鶴見川流域で多くの団体が一齐に清掃作業を実施する。本部委員として辻さんが見える。9時30分開戸親水に集まりマニュアルにもとずき辻さんから留意事項がある。例月通り手分けして作業にかかる。権現橋下手に投げ込まれていた子供用の自転車の持主判り持主が引き取りに来るといいうハプニングがあった。正午、下堰親水で作業終了を宣言した。

10月18日(木)麻生総合高校体験学習
麻生総合高校は教課の一環として社会との交流体験を取り入れている。生徒の希望で商店、工場、福祉施設、ボランティア団体等で体験学習をする。3年前から真光寺川へ来るようになった。

今年は事前に綿密な計画書と依頼状を頂戴した。約束の時間の15分前の広袴公園へ行く。先生と生徒は既に到着していた。山本、山岡、生江、笠井、中野さんで対応する。定刻10時に開始。私から会の活動、山本さんから鳥の話、山岡さんから魚の話をする。池の周囲を一周し鳥の生態を観察する。谷戸の景観を楽しみながら11時過ぎに下堰親水に到着する。1時間かけて新矢崎橋まで約500mの清掃作業を実施する。下流の草むらで2m近い青大将を発見一騒動だった。

終了後、いちよう会館で昼食休憩。生徒から思い思いの感想が述べられた。後日、礼状と共に感想文が送られてきた。生徒達のみずみずしい感覚が伝わってきた。

10月25日(日)水サンプル採集
朝食前6時に家を出る。朝焼けが美しい。広袴公園では鳥達が群れていた。元真光寺駐在所跡では岸辺に草が繁茂し難渋した。松前さんに渡しほつとする。(この項おわり)